

地域医療確保に関する国と地方の協議の場等について

9月26日、厚生労働省が再編統合等の再検討を求める全国424の公立・公的病院のリストを公表したことにより、地域住民に大きな不安と動揺が広がっている。このような議論の進め方を懸念する地方側の声を受け、「地域医療確保に関する国と地方の協議の場」（以下「協議の場」という。）が設置された。

1 協議の場の概要

- ・2025年の地域医療構想の実現に向け、医師偏在対策、医療従事者の働き方改革も含め三位一体で推進し、総合的な医療提供体制改革を実施する必要がある、国と地方が共通の認識をもって取組を進めるために設置
- ・協議の場は、全国知事会など地方3団体と、総務省、厚生労働省で構成

2 第1回協議の場（10月4日）の結果について

(1) 日時 令和元年10月4日（金） 16:00～17:00

(2) 場所 都道府県会館 101 大会議室

(3) 出席者

平井伸治 全国知事会社会保障常任委員長（鳥取県知事）

立谷秀清 全国市長会会長（福島県相馬市長）、椎木巧 全国町村会副会長（山口県周防大島町長）、

橋本岳 厚生労働副大臣、長谷川岳 総務副大臣 ほか

(4) 結果概要

国はリストの公表の手法等で反省を示し、今後地方に出向き、説明責任を果たすと理解を求めた。地方三団体からは、協議を複数回開催して議論を正常化させることが必要と厳しく主張した。

主な発言は以下のとおり。

<地方三団体>

- ・少子高齢化が進展する中で社会保障改革を進めること、医療費の適正化など地方としても協力しなければならない。
- ・ただし、公立・公的医療機関等について全国一律の基準により分析したデータのみで再編統合等の再検討を求めるとして全国424の具体的な病院名を公表された。今回公表された病院の中には、既に機能転換やダウンサイジングの方針が合意された病院など正当な評価もないまま公表に至っているものもあるなど、今回の手法はあまりにも唐突で不適切。各地域ごとに実情も異なりそれぞれに処方箋が必要。公表されたリストは本来であれば返上すべき。
- ・自治体病院の担うべき役割だけを再検討すればいいものではなく、地域医療構想の実現には民間病院も含めて検討すべき。リストを返上できないならば民間病院のデータも公表し、議論すべき。
- ・地方には国に対し大きな不信感が生まれている。令和2年3月（再編統合を伴う場合は同年9月）までに各圏域の地域医療構想調整会議で議論し結論を得るという厚生労働省が求めている方針は、信頼感をもって話し合う環境になく、議論の正常化に時間がかかり、困難。
- ・ダウンサイジングに伴う職員の余剰や企業債の残債など公共団体にとっての負担増に対し、更なる財政支援の検討が必要。
- ・医師偏在是正の観点から、専門医養成に地域のシーリングを設けるような格差拡大につながる

ことについては、慎重に検討すべき。本来、専門医のみならず、地域で総合診療を行う医師についても議論すべき。

- ・地域医療構想、医師偏在対策、医療従事者の働き方改革の3つの課題は、地域の実情を十分に把握しながら協議を行っていくことが必要。このような協議の場は今回1回に限らず、継続して実施すべき。

<橋本厚生労働副大臣>

- ・このたびの公表の手法に問題があつて誤解を招いたことはしっかり受け止め、反省する。その上で国が考えていることを丁寧に、しっかりと説明責任を果たしていく。
- ・議論の正常化から出発しなければならないので、今後、各地域に出向いて丁寧な説明を行っていききたい。
- ・今回の公表した公立・公的病院はあくまで病院が担うべき役割について検討いただく材料に過ぎず、統廃合等の方向性を機械的に決めるものではない。今後の方向性については各圏域の地域医療構想調整会議の中で議論していただければいい。

<長谷川総務副大臣>

- ・国としては発表前に本来こういった協議の場を設立すべきであった。何回か今日のような議論を重ね、地域の実情をしっかりと理解していききたい。

3 地域医療構想に関する地方との意見交換会について

第1回協議の場（10月4日）での合意により、今後の地域医療構想等の進め方等について、各地方で説明・意見交換の場が持たれた。

10/17	10/21	10/23	10/29	10/30
九州	東海北陸	北海道、東北	関東信越、近畿	中国四国

なお、出席人数の制限等については、地方3団体による申入れ（10月11日）により以下のとおり改められた

- 各ブロック単位での説明 ⇒都道府県の要望に応じ、国は個別に意見交換に伺う
- 出席人数（市町村からの出席者は1名に制限） ⇒制限は取り下げ

4 第2回協議の場（11月12日）の開催について

(1) 日時 令和元年11月12日（火） 15:00～16:00

(2) 場所 都道府県会館

(3) 出席者

平井伸治 全国知事会社会保障常任委員長(鳥取県知事)、
立谷秀清 全国市長会会長(福島県相馬市長)、椎木巧 全国町村会副会長(山口県周防大島町長)、
橋本岳 厚生労働副大臣、長谷川岳 総務副大臣 ほか

(4) 議題（予定）

- ①民間病院データについて
- ②医師偏在指標について
- ③地域医療構想に関する地方との意見交換について
- ④厚労省および総務省の現行の財政支援策および概算要求の内容について